

## 春日局を通じた「ご縁」をつなぐ「ご飯」 東京都文京区に丹波米を贈呈



笑顔で丹波米を持つ足立雅典副会長、成澤廣修文京区長、中出靖大会長（写真左から）

12月7日、東京都文京区役所で丹波米の贈呈式が開催されました。文京区と丹波市は春日局を縁として、平成30年度から相互交流の検討を進める中、文京区が実施する「子ども宅食プロジェクト」に賛同し、市内農業者団体からコシヒカリを寄附しました。

寄附をした丹波大空の会会長の中出靖大さんは「これを契機に民間同士の交流や丹波市産の農作物の需要拡大につなげたい」と話しました。

## 健康的なスタイルなどを競う国内の大会で 田中祐二さん、足立隆朗さんが上位入賞



林市長とポーズを決める足立さん（左）田中さん（右）

健康的なスタイルなどを競う国内の大会で丹波市在住の田中祐二さんと足立隆朗さんが上位入賞を果たし、12月15日、市長を表敬訪問しました。田中さんは、両国国技館で開かれた「ベストボディジャパン2023日本大会」30歳代の部で準グランプリを受賞、足立さんは「SUMMER STYLEAWARD 2023 KANSAI」のSTYLISH GUY tall部門で1位に入選しました。

足立さんは「子どもの頃から何をしても1位を取ったことがなく、今回は結果が報われて、ステージでは嬉し泣きしました」と話しました。

## 冬の丹波路を快走！ 丹波市ちーたん駅伝 2023 開催

12月17日、三ッ塚史跡公園周辺で丹波市ちーたん駅伝2023が開催されました。小中高生から高齢者まで約360人が出場し、4人1組でたすきをつなぎ健脚を競いました。

40歳以上が出場するマスターズの部で、1位でフィニッシュを飾った井上孝信さんは「4人合わせると180歳になるチームだが、目標としていた同時スタートの中学・高校女子の部のチームよりも先にゴールできて良かった。次は最後となる三ッ塚マラソ大会に向けて練習に励みます」と意気込みました。



スタートの合図とともに一斉に駆け出すランナー

## 厚生労働大臣表彰を受賞 日原恒子さんが市長を表敬訪問

12月26日、令和5年度ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞した日原恒子さんが市長を表敬訪問しました。日原さんは中学校教諭を退職後、視覚障がい者を対象に市の広報紙や新聞などを朗読するボランティアを29年間にわたり続け、その功績が評価されました。

日原さんは「目の見えない人に正しく伝わるように言葉を言い換えるなど、工夫して朗読してきました。命ある限りこの活動を続けていきたい」と話しました。



笑顔で表彰状を掲げる日原さん（写真左）

## 日本の食文化を学びにトルコの大学生らが 丹波黒大豆の収穫を体験



黒大豆を試食し、笑顔を見せるバフチェシヒル大学の学生のみなさん

12月2日、トルコ共和国のバフチェシヒル大学と武庫川女子大学の丹波黒大豆の収穫体験が行われました。交流協定を結ぶ両大学からは食文化や料理を学ぶ学生14人が参加し、氷上地域にある「いずみ農園」を訪問。収穫体験や煮豆の試食を行い、日本の食文化を学びました。

参加したバフチェシヒル大学の学生は「トルコには、甘い豆料理などがない。黒大豆の甘味は唯一無二で好みの味です」と笑顔で話しました。

## 英語のコミュニケーション能力向上をめざす 英語スピーチコンテスト開催



身ぶり手ぶりを交えてスピーチする大江ひなさん

12月2日、ハートフルかすがで「第33回丹波市中学校英語スピーチコンテスト」が開催されました。市内中学校代表が、英語で自分の経験や将来の夢、挑戦したいことなどをスピーチしました。

審査の結果、大江ひなさん（氷上中3年）、三方杏菜さん（氷上中3年）、瀬川知勇さん（山南中3年）、吉見菜奈さん（市島中3年）の4人が優秀賞に選ばれました。

## 700発の大輪が冬の夜空を彩る さちよ花火大会が初開催

12月2日、氷上地域の幸世公民会館付近で「さちよ花火大会」とイルミネーションの点灯式が行われました。初開催となった花火大会では約700発の色とりどりの大輪が打ち上げられ、夜空を彩りました。また、同施設には飲食などの屋台も登場し、参加者らは寒さを忘れ、冬のお祭りを楽しみました。

イルミネーションは1月7日まで毎日点灯し、幸世地域の夜空に祭りの余韻を残しながら地域の住民を楽しませていました。



夜空を彩る花火とイルミネーション

## 児童・生徒の交通安全ポスター 梶村駿斗くんが銀賞を受賞

12月9日、丹波警察署で交通安全をテーマに募集された兵庫県交通安全協会主催の「児童・生徒の交通安全ポスターコンクール」の入賞者表彰伝達式が行われました。コンクールには県内の小中高校から1万2,637点の作品が寄せられ、黒井小学校2年生の梶村駿斗くんが銀賞を受賞しました。

梶村くんは「自転車に乗るときはヘルメットを忘れないで欲しい」と思いを話しました。



銀賞を受賞したポスターを手にする梶村くん（写真右）と副賞の盾を持つ長尾恭志丹波警察署長